



創刊
昭和42年10月10日
第148号
平成29年6月30日
能代市教育委員会
学校教育課
題字 元能代市教育長
鎌田 宏

巻頭言



郷土を愛し 支える子どもたちの育成

渡邊 清彦

向能代小学校長

四月一日、県人口一〇〇万人割れの記事が新聞で大きく報道されました。進学や就職で多くの若者が故郷を離れたことも大きな要因と考えられます。以来、地方創生や人口減対策に関する記事が頻繁に報道されるようになりました。

「上司と力を合わせて能代を盛り上げ、人間としても成長していきたい。」

「廃校になった校舎を利用し、都会の若者を招いて地域住民と交流するイベントを企画している。地域にとって何かが生まれる機会になればと期待している。」

記事からは故郷を元気にしたい、自分ができる範囲で行動を起こし少しでも地域に貢献したいという強い

思いが感じられました。

さて市内の小中学校では、おなごりフェスティバルでの一中若、二中若の運行、湊城南小六年生による能代の活性化に向けた提案書の作成と市長への提言、また市教育委員会主催による小学生ふるさと学習交流会・能代っ子中学生ふるさと会議の開催など様々なふるさと学習が行われています。これらの活動は、郷土に対する愛情や誇りを高め、新しいふるさとづくりを担う自覚を高めることを目的とし、大きな成果を上げています。

昨年度、本校の児童・保護者アンケートで、「ふるさと学習で地域のよさを感じましたか」の質問では、児童・保護者ともに肯定的回答が九

県総合教育センター公開講演 研修のいい機会です。ぜひ、ご参加を!

- 7月13日 (木) 13:00~16:00
演題「社会性、主体性を育むための自立活動の指導」
(茨城大学教育学部 准教授 新井 英靖 氏)
- 9月7日 (木) 14:00~16:00
演題「言語活動を効果的に位置付けた授業の改善のポイント」(仮題)
(横浜国立大学 名誉教授 高木 展郎 氏)

輝きの一場面



地域の人に見守られ新隊員誕生!
「鶴の恩返し隊」 H29. 5. 8

十%を超えていました。「進学や就職のため」「夢の実現のため」等、転出理由はいろいろ考えられますが、学校ではふるさと教育の充実を図ることで、たとえどこにいても故郷を愛し発展を願う心、さらには故郷を支えていこうとする強い思いを育てていくことが重要だと感じています。

「取り組む生徒、支える教師、能代二中の一体感」

能代第二中 教頭 渡部 剛

職員で喜び合いました。今年度70周年記念事業が行われます。能代二中の一体感を地域に発信していきます。



五月一日、定期戦が行われました。今年度は、応援リーダーが全体をまとめ上げてくれました。休日、担当の先生や吹奏楽部と打合せをしたり、早朝練習に取り組みんだりするなど二中のために自分の時間を費やす姿は頼もしかったです。「自主・不屈・友愛」を強く意識し愛校の象徴的命題として取り組んできた現れだと思えます。その後、全校生徒全員出席した日が一日ありました。当たり前の姿なのかもしれませんが、全職員で喜び合いました。今年度70周年記念事業が行われます。能代二中の一体感を地域に発信していきます。

